

タウンミーティング 聴きたい、話したい まちのこと

日 時 平成29年3月22日（水）午後7時～8時30分

場 所 ふじみ野分館（亀久保南町会）

参加者 15人



主な意見等

参加者 社会保障費が増えており、国も借金している状況であり、地方自治体も苦勞していると思います。その中で、市も努力していることもわかりました。

市 長 いろいろな方の話を聞く中でみなさんが言うのは、「国の制度によって助けられて生活をしているが、もう少し制度が充実していればいい、何でもかんでも助けてもらうことではない」ということです。みんなで助け合う国民健康保険や介護保険の制度などは、世界に誇れる制度と思っております。

また、生活保護についても、見直しが必要であるかもしれませんが、先進国の中で唯一の世界で誇れる制度だと思っております。

参加者 支所の桜通りの桜の木が、毎年数本ずつ伐採や剪定をされ続けており、今後も残っていくのか心配なのですが、どうでしょうか。

市 長 桜を楽しみにする人もいる一方で、葉っぱが落ちたり、根っこが歩道を持ち上げたりすることや、近隣に住まわれている方のことも考えなければなりません。今後もみなさんのご意見を伺いながら、どのように残していくのかを検討していきたいと思っております。

参加者 区画整理したことによって、畑の土が舞って下水に溜まってしまっています。土が舞わないような対策を取ってほしいです。それに係る補助金も検討してほしいと思います。

市長 畑の所有者の協力によって、区画整理がなされたと思いますが、ご提案のように、泥が下水に流れこまないような対策が出来ないか、考えていきたいと思っています。

参加者 民生委員の意見を直接反映出来る体制を取れるようにしてほしいです。また、自治会を活発にするような対策をとってほしいです。

市長 会長の受け手不足や、若い人の自治会の加入率が低下している状況ですが、大規模な災害等が起こった時に、助けになるのは地域の人の助けです。そのことから、市の集会施設の在り方を検討しながら、自治組織の在り方を皆さんと考えていきたいと思っています。

参加者 一軒ごとに年 4 回町会の集金に行かなければいけません。新しく家が建ったところに、自治会の加入を促しても、なかなか入っていただけない状況です。

市長 東日本大震災が起きたときに、マンションで停電があり、水が出ない地域がありました。その後、自治組織を結成したいと話があり、自治組織の大切さの認識がされたということがありました。

参加者 子供のあいさつ運動のようにあいさつを習慣としていれば、大人になっても誰にでも声掛けができるようになると思います。そうすれば、コミュニティの構築につながり、空き巣や放火が減少するのではないかと思います。

市長 どの学校でもあいさつ運動に取り組んでいます。市全体でもあいさつが交わされるようになればいいと思います。また、副市長も毎朝、子どもの登校の際に声掛けを行っています。

参加者 市で元気・健康なまちづくりを推進していますが、公園でラジオ体操などを行ってから、イベントを行うと良いと思います。その際に市でラジオ体操のテープを貸し出してみたらどうですか。

市長 最近、公園の隅でラジオ体操をしている人を見ますが、市役所でも毎朝始業前にラジオ体操を行っています。ご提案は検討させていただきます。

参加者 防災行政無線は真下辺りでは、音がとても大きいと感じることがあります。

市長 防災行政無線は、新しい建物が建ったことにより音の伝わり方が変わってしまうことがあるので、なかなか難しい面があります。

4月からは防災無線の内容をテレビ埼玉のデータ放送を利用して、情報を伝えていく予定です。できるだけ、みなさんに伝達できる手段を検討しています。